

# 市長の施政方針に

日本共産党



岡田 議員

改革未来の会



岩佐 議員

**問** 大幅賃上げ・消費税5%減税・学費・教育費ゼロへ国の政策実行を求めることについて。

**答** 国の令和7年度予算において、全ての世代の現在および将来にわたる賃金・所得の増加を最重要課題として捉え、対応すると表明されている。

**問** 物価高騰の下、市民の暮らしを支える取り組みについて。

**答** 国や都と連携し、適切な財源を確保した上で、必要な時期に必要な施策を実施する。

**問** 防災・減災対策について。

**答** 全国各地で発生した大規模災害での教訓を踏まえ、「自らの命は自らが守る」ことを基本とし、自助として在宅避難への備えや停電・断水時の対策強化が必要であると認識している。いなぎ防災マップを更新し、全戸配布して防災に関する正しい知識や情報を提供し、在宅避難の備えを推進するほか、停電対策として、公共施設や避難所への発電機などの配備や、断水対策として、応急給水拠点での飲料水の提供や、飲料水の備蓄、災害時生活用水井戸の整備に取り組んでいる。

**問** こども誰でも通園制度ブレ事業について。

**答** 事業の子どもの保育環境の質を保つことや、国や自治体が責任を持つ保育施設に入れる体制を作ることについては、国や都の基準に基づき実施するものと考ええる。

**問** 稲城第二小学校の校舎増築工事、稲城第三小学校の校舎建替工事における気候変動対策について。

**答** 稲城第一小学校は、PPA事業により屋上に太陽光発電設備を設置するとともに、壁および屋上

部分へ断熱材を敷設し、窓ガラスはペアガラスにする予定。稲城第三小学校は、加えてアルミ樹脂複合サッシにするなど、ZEB化を行う予定。

**問** 小中学校の特別教室のエアコン設置について。

**答** 令和7年度夏季休業期間を中心に工事を行う予定。

**問** 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業委託の現状および健康状態不明者の把握・支援を追加する理由と経過について。

**答** 多剤服薬に着眼し、フレイル予防も含めた事業を実施してきており、追加の理由と経過は、医療受診歴などない方が増加傾向にあったことなどによる。

**問** 開発優先から暮らし・福祉・教育・環境優先の市政への転換について。

**答** 市政運営の基本姿勢は、市議会で議決した第五次稲城市長期総合計画の各施策を着実に実施していくこと。

**問** 稲城駅南口駅前広場の改良工事について。

**答** 既存レイアウトの見直しは、バスやタクシーなどの乗車場や待機場所を増やすために行う。一般車の送迎は従来から可能。駐輪場は、北口駐輪場の空き具合を考慮しながら、今後研究する。本工事完了後に、シェアサイクルステーションの新設を予定している。

**問** バスの見直しについて。

**答** 市民ニーズなども踏まえ、少しでも減便や廃止の影響が少なくなるように、代替手段などを含め、稲城市地域公共交通会議などで協議していきたい。

**問** 職員配置の適正化の具体的な施策と結果について。

**答** 組織改正に伴う職員の適正配置を行ったことにより、業務効率の向上と、市民サービスの向上が図られた。

**問** 優先的に取り組むべき課題の分野と市民ニーズの把握と実現について。

**答** 第五次長期総合計画基本構想にある将来都市像の実現に向けて、着実に各種取り組みを進め、収集した市民ニーズに対し、迅速かつ効果的に施策を実現していく。

**問** 防災・減災の取り組みについて。

**答** 近年の自然災害による教訓をもとに自助・共助・公助の取り組みを推進し、地域防災計画に基づき、防災・減災対策に取り組む。

**問** こども誰でも通園制度の保育の質と向上への取り組み、預かる施設が主に幼稚園である理由について。

**答** 質と向上への取り組みは、国や都の基準に基づき実施する。主に幼稚園としている理由は、保育園では保育室に余裕がないが、幼稚園では比較的保育室などに空きがあり、1・2歳児を預かりやすい環境にあることなどによる。

**問** 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所の新規開設の支援について。

**答** 市の地域包括ケアシステムの深化、推進が一層図られると判断したことから行う事業で、提供する事業所が増え、住み慣れた地域での在宅介護や看護が受けられることで、市民の福祉や生活向上に貢献すると考える。

**問** 高齢者の保健事業と介護予防

を一体的に実施する事業委託の目的と背景について。

**答** 後期高齢者が、地域で健康的な生活を送れるようにすることを目的とし、必要性としては、高齢者が抱える健康課題へ対応を図ることが大変重要と考える。

**問** JR南武線高架下公園整備事業および南山地区の街区公園整備の地域からの要望について。

**答** 多目的に利用できる公園、子供の居場所となる公園などを早期に整備してほしいとの要望を頂いている。

**問** サポート詐欺被害防止啓発封筒の内容と効果について。

**答** サポート詐欺の特徴や相談先を記載したオリジナル封筒を市内のコンビニに配布し、普段、電子マネーを購入しない年齢層の方などが購入した際に、電子マネーのカードを収納する封筒として配布する。封筒に記載された「電子マネーの購入を促されたら詐欺」といった文言を目にする中で、詐欺被害に気付ききっかけとなる効果を期待する。

**問** 行政情報を発信する職員の業務意識の改革方法について。

**答** 自治体向けデジタル人材紹介サービスを活用して、専門的な知識を持つ人材を任用し、職員への監修などの業務や意識改革に資する役割を担ってもらう。

**問** 持続可能な行財政運営のための調査研究の目的、調査結果の活用方法について。

**答** 公共交通のあり方を調査・研究するため、専門事業者に調査を委託し、新公共交通システム導入を検討するためのエビデンスに活用する。



岩佐議員



岡田議員



佐藤議員



池田議員



中島議員